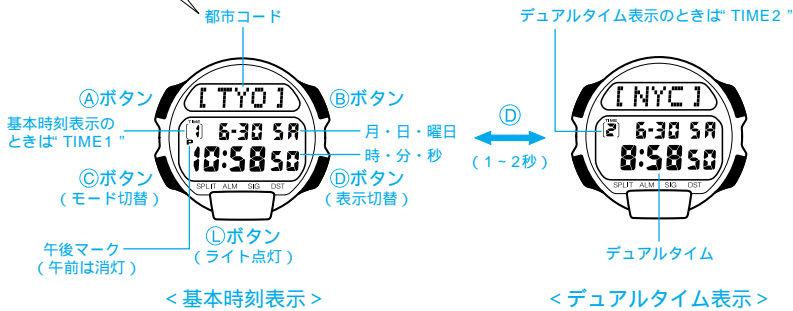


操作のしくみと表示の見方 © ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻モード

時刻モードで (A) ボタンを押すごとに、「都市コード」と「年」が切り替わります。



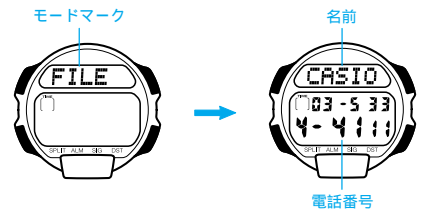
表示切替

時刻モードで (D) ボタンを 1 ~ 2 秒間押すごとに、基本時刻表示 (TIME1) とデュアルタイム表示 (TIME2) が切り替わります。

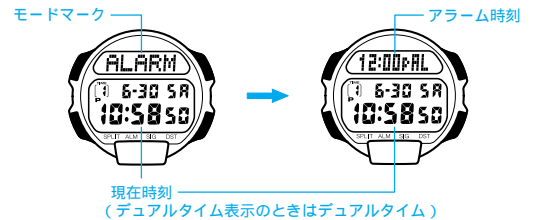
曜日の見方

日: SU 月: MO 火: TU 水: WE 木: TH 金: FR 土: SA

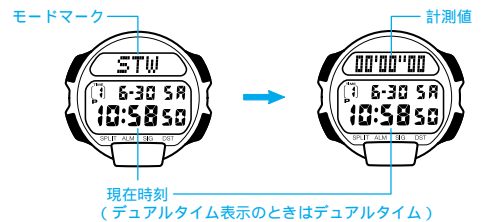
ファイルモード



アラームモード



ストップウォッチモード



表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル (エレクトロルミネッセンスパネル) が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。

(L) ボタンを押します

→ どのモードのときでも、文字板にある EL パネルが約 2 秒間発光します。



< EL 発光についての注意事項 >

直射日光下では、発光が見えにくくなります。
発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能*」に設定してあります。(デモ機能では通常のボタン操作はできません)

*「デモ機能」とは時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

デモ機能の解除... © ボタンを 1 ~ 2 秒間押すと、デモ機能が解除されます。

デモ機能にするには... 解除時と同様に © ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けます。



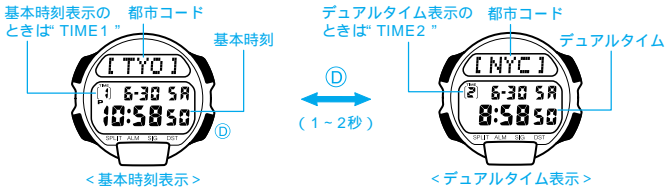
デュアルタイムについて 以下の操作は時刻モードで行ないます。

本機には基本時刻(TIME1)とあらかじめ登録されている40都市の中から選べるデュアルタイム(TIME2)の2つがあり、表示を切り替えて使うことができます。

基本時刻も登録されている40都市の中から選ぶことができます。デュアルタイムの「秒」「年・月・日」は基本時刻の「秒」「年・月・日」に連動して表示されます。基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも24時間制で表示されます。

デュアルタイム表示にするには

時刻モード<基本時刻表示>のとき、**⑩** ボタンを1~2秒間押します
→<デュアルタイム表示>となり、セットされている都市の時刻を表示します。もう一度**⑩** ボタンを1~2秒間押すと<基本時刻表示>に戻ります。



都市コードのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。

(1) **⑨** ボタンを1~2秒間押します

→「都市コード」が点滅します。

(2) **⑩** または **⑪** ボタンを押します

→ **⑩** または **⑪** ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(下記「都市コード一覧」参照)



(3) **⑨** ボタンを押して、点滅を止めます

点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

サマータイムのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。なお、サマータイムは基本時刻もしくはデュアルタイムのそれぞれにセットできます。

(1) **⑨** ボタンを1~2秒間押して「都市コード」が点滅したら、**⑩** ボタンを1回押します

→ DSTマークとONまたはOFFが点滅します。



(2) **⑩** ボタンを押します

→ **⑩** ボタンを押すごとにON/OFFが切り替わります。DST ONにするときサマータイム設定*になります。

*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。「DST」はサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

(3) **⑨** ボタンを押して、点滅を止めます

点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
ADL	+9.5	アデレード	LON	+0.0	ロンドン
ANC	-9.0	アンカレジ	MEX	-6.0	メキシコシティ
BER	+1.0	ベルリン	MIA	-5.0	マイアミ
BKK	+7.0	バンコク	MIL	+1.0	ミラノ
CAI	+2.0	カイロ	MLE	+5.0	マレー
CCS	-4.0	カラカス	NOU	+11.0	ヌーメア
CHI	-6.0	シカゴ	NYC	-5.0	ニューヨーク
DAC	+6.0	ダッカ	PAR	+1.0	パリ
DEL	+5.5	デリー	PPG	-11.0	パゴパゴ
DEN	-7.0	デンバー	RGH	+6.5	ヤンゴン
DXB	+4.0	ドバイ	RIO	-3.0	リオデジャネイロ
GUM	+10.0	グアム	ROM	+1.0	ローマ
HKG	+8.0	ホンコン(香港)	SEL	+9.0	ソウル
HNL	-10.0	ホノルル	SFO	-8.0	サンフランシスコ
IST	+2.0	イスタンブール	SIN	+8.0	シンガポール
JED	+3.0	ジッダ	SYD	+10.0	シドニー
JRS	+2.0	エルサレム	THR	+3.5	テヘラン
KBL	+4.5	カブール	TYO	+9.0	東京
KHI	+5.0	カラチ	WLG	+12.0	ウェリントン
LAX	-8.0	ロサンゼルス	YVR	-8.0	バンクーバー

この表は2000年6月現在作成のものです。
この表の時差はグリニッジ標準時(協定世界時:UTC)を基準としたものです。

時刻・カレンダーについて

基本時刻とデュアルタイムは、あらかじめ登録されている都市の時差にしたがい連動しています。どちらかの時刻・カレンダーをセットすれば、都市コードを変更しても時刻・カレンダーを修正する必要はありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

(1) **⑨** ボタンを1~2秒間押して「都市コード」が点滅したら、**⑩** ボタンを2回押します。

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、**⑩** ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)



(3) **⑩** ボタンを押します

→以後、**⑩** ボタンを押すごとに点滅箇所が「秒時分12/24時間制表示切替年日月日...」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(4) **⑩** または **⑪** ボタンを押します

→ **⑩** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、**⑪** ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

⑩・**⑪** ボタンとも、押し続けると早送りできます。



(3)~(4)の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

12/24時間制表示切替のときは、**⑩** ボタンを押すごとに12時間制表示(12H)と24時間制表示(24H)とが切り替わります。

「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。「年」は西暦で1995~2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) **⑨** ボタンを押して、点滅を止めます

点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

時刻モードのときに**⑩** ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

⑩ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします



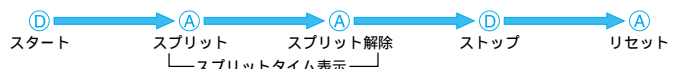
計測中に**⑩** ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度**⑩** ボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)

計測中に**⑨** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(SPLITマーク点灯)もう一度**⑨** ボタンを押すとスプリットが解除されます。計測終了後**⑨** ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

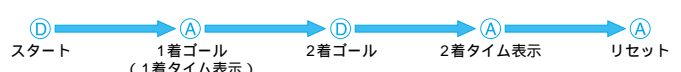
通常計測



スプリットタイム(途中経過時間)の計測



1・2着同時計測



ファイル機能の使い方 時刻モードのときに © ボタンを1回押すと、ファイルモードになります。

ファイル機能は名前8文字と電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。ファイルモードに切り替えると、前回ファイルモードで最後に見たデータを表示します。また、データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行なわれますので、データを探するときもたいへん便利です。
*自動ソート...記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は(スペース)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-./:/)です。

データの呼び出し

ファイルモードのとき、ⓓ または ⓔ ボタンを押します

- ⓓ ボタンを押すごとに名前順に進み、ⓔ ボタンを押すごとに逆方向に進みます。
- ⓓ・ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。



データを入力(修正)する

(1) ファイルモードのとき、

ⓓ または ⓔ ボタンを押して、残りメモリー数(修正ページ)を表示させます

残りメモリー数表示のときは「REST」と表示されます。30件すべて入力してあるときは「FULL」と表示されます。このときは不要なデータを消去しておいてください。「データを消去する」参照)

(2) ⓐ ボタンを1~2秒間押します

→ 名前部1桁目が点滅します。

(3) 点滅箇所のセット

ⓓ または ⓔ ボタンを押します

→ ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が1つずつ進み、ⓔ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

ⓓ・ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。

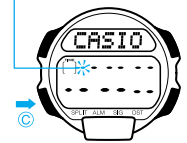


(4) 点滅箇所を選ぶ

ⓓ ボタンを押します

→ ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目~8桁目 電話番号部1桁目~12桁目 名前部1桁目...」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、© ボタンでセットしたい箇所を選びます。

電話番号部1桁目



(3)~(4)の操作を繰り返して、データを入力(修正)します。

名前部は最大8文字、電話番号部は最大12桁まで入力できます。入力できる文字は名前部セットのときは(スペース) アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-./:/)で、電話番号部セットのときは-、数字(0~9)、(スペース)です。

(5) セットが完了したら、ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、入力したデータを表示します。名前部を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。続けてデータを入力したいときは、(1)~(5)の操作を繰り返し行ないます。入力したデータは名前順に並び替えられます。ファイルモードのまま2~3分すると自動的に時刻モードに戻ります。

データを消去する

(1) ⓓ または ⓔ ボタンを押して消去したいデータを選びます

(2) ⓐ ボタンを1~2秒間押します

名前部1桁目が点滅します。

(3) ⓓ ボタンと ⓔ ボタンを同時に押します

確認音が鳴り、「CLR」が表示されて、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。

(4) 消去が完了したら、ⓐ ボタンを押します

アラームの使い方 時刻モードのときに © ボタンを2回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

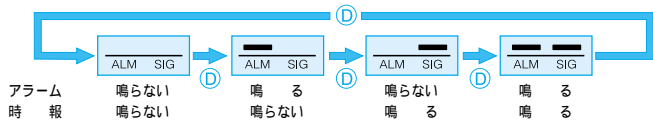
アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

ⓓ ボタンを押します

→ ⓓ ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

なお、アラーム時刻をセットするとアラームマークが点灯し、自動的にアラームONとなります。「アラーム時刻のセット」参照)



アラーム・時報の報知方法

アラーム・時報は時刻モードで表示させている時刻に合わせて鳴ります。

アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

時報ONのとき

毎正時(00分)になると、「ピピッ」と電子音が鳴ります。



鳴っている電子音を止めるには

アラーム(時報)音を止めるには、ⓐ ⓑ ⓒ ⓓ ⓔ ボタンのうち、いずれか1つを押します。

モニターアラーム

アラームモードのときに ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

ⓐ ボタンを1~2秒間押します

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。このときアラームマークが点灯し、アラームONとなります。

アラーム時刻



アラームマーク

(2) セット箇所を選ぶ

ⓓ ボタンを押します

→ ⓓ ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。

分



(3) 点滅箇所のセット

ⓓ または ⓔ ボタンを押します

→ ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、ⓔ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

ⓓ・ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。

「時」のセットのとき午前/午後Pまたは24時間制にご注意ください。基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。



(4) セット後、点滅を止めるには、

ⓐ ボタンを押します

点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。